

監護・生計維持申立書

平成 年 月 日

(あて先) 大阪市長

次のとおり、利用生徒を監護し、生計を維持していることを申し立てます。

申請者 住所 _____

氏名 _____ 印

1 該当する利用生徒

利用生徒の氏名	生年月日	利用生徒の父母の氏名	
	平成 年 月 日	父:	母:

2 利用生徒を監護し、生計を維持している理由

事務局使用欄

※黒のボールペンで記入してください。(鉛筆、消せるボールペン等は使用しないでください。)

※訂正する場合は、二重線を引き、その上に訂正印(③に押印する印鑑と同じもの)を押してください。

(修正液や修正テープ等は使用しないでください。)

※記入内容や印鑑の不備があった場合は、「塾代助成カード」の利用開始月が遅れることがありますので、十分にご確認ください。

記入時の注意点

① 提出する日付を記入してください。
([交付申請書(第1号様式)]の提出日と同じ日付)

② [交付申請書(第1号様式)]の申請者と同じ住所・氏名を記入してください。

③ 朱肉印を押してください。
(スタンプ印不可)

④ [交付申請書(第1号様式)]の利用生徒と同じ氏名・生年月日を記入してください。

⑤ 離婚等により、ひとり親の場合は父または母の氏名のみ記入してください。

⑥ 理由は、左記のようにできるだけ具体的に記入してください。

監護・生計維持申立書

(第3号様式)

(あて先) 大阪市長

① 平成〇〇年〇〇月〇〇日

次のとおり、利用生徒を監護し、生計を維持していることを申し立てます。

② 申請者 住所 大阪市浪速区●●3丁目4番5号

★★マンション705号室

氏名 浪花 代助 ③

1 該当する利用生徒

④	利用生徒の氏名	生年月日	⑤	利用生徒の父母の氏名
	浪花 太郎	平成〇〇年〇〇月〇〇日	父:	母: 浪花 習子

2 利用生徒を監護し、生計を維持している理由

⑥ 利用生徒 太郎の両親が離婚し、太郎の母 習子が養育することとなりましたが、母の収入のみでは養育することができないため、祖父である私が監護し、生計を維持しています。

事務局使用欄

記入例 3

申請者が生徒の父母以外で、生徒と同居している場合

※黒のボールペンで記入してください。(鉛筆、消せるボールペン等は使用しないでください。)

※住民票に記載されている氏名を記入してください。

(やむを得ない理由により旧姓等でカードの利用を希望する場合は、運営事務局までお問い合わせください。)

※訂正する場合は、二重線を引き、その上に訂正印(②)に押印する印鑑と同じもの)を押してください。

(修正液や修正テープ等は使用しないでください。)

※記入内容や印鑑、写真の不備があった場合は、「塾代助成カード」の利用開始月が遅れることがありますので、十分にご確認ください。



(第1号様式)

大阪市塾代助成カード交付申請書
(平成29年4月～9月利用分 新規申請用)

① 平成 ○○年 ○○月 ○○日

(あて先) 大阪市長

申請者 (養育者)	フリガナ	ナニワ	ダイスケ	②	生年月日	明治・大正(昭和・平成)
	氏名	(姓) 浪花	(名) 代助	③	平成28年1月1日時点の住所	大阪市内・大阪市外
保護者	住所	〒○○○-○○○○	705号室	④	※大阪市外の方は、課税(所得)証明書が必要です	
	利用生徒との続柄	父・母・(その他) 祖父	⑤	申請日時における生活保護の適用	有・無	
配偶者	配偶者の有無	有・無	※配偶者が「有」の場合は、配偶者欄も記入してください。			
	フリガナ	ナニワ	セイコ	生年月日	明治・大正(昭和・平成)	
配偶者	氏名	(姓) 浪花	(名) 成子	住所	〒 - 大阪市内・大阪市外	
	住所	☑申請者住所と同一 (同一にチェックした場合、住所は記入不要)				※大阪市外の方は、課税(所得)証明書が必要です
⑦ 連絡先(電話番号)		自宅	06-6900-0000	携帯など(注1)	080-1234-0000	
※申請内容の確認等のためご連絡することがありますので、日中にお問い合わせのできる連絡先を記入してください。						
利用生徒	フリガナ	ナニワ	タロウ	⑩	写真の角を合わせてください。	
	氏名	(姓) 浪花	(名) 太郎	生年月日	平成○○年○○月○○日	
利用生徒	学年	(平成29年4月時点) 中学 1年生				
	性別	男・女	⑧ 別居別	⑨ 計	同居・別居 同一・維持	
利用生徒	住所	☑申請者住所と同一 (同一にチェックした場合、住所は記入不要)				
	住所	〒 - 大阪市内・大阪市外				
<p>※ 塾代助成カード等の送付物は申請者住所に送付します。</p> <p>※ 上記の申請事項に変更がある場合、大阪市塾代助成カード交付申請内容異動届(第10号様式)により変更手続きが必要です。</p>						

同意書

次の項目に同意し、大阪市塾代助成カードの交付を申請します。

- 虚偽の記載により塾代助成カードの交付を受けた場合や、塾代助成カードを交換・譲渡・売買その他不正な行為により利用した場合は、塾代助成カード及び塾代助成カードで利用した金額を大阪市へ返還すること。
- 本申請に基づく資格審査により交付決定を受けた場合でも、審査日時点以降において所得が税更正等により変更となり、所得制限限度額以上となった場合は、当該期間の助成は受けることができず、すでに塾代助成カードで利用した金額があれば大阪市へ返還すること。
- 本申請に基づく資格審査により不交付決定を受けた後に、所得が税更正等により変更となり、改めて塾代助成カードの交付を希望する場合は、再度申請が必要であり、いかなる場合でも過去に遡り塾代助成カードの交付を受けることはできないこと。
- 申請内容に変更が生じた場合は、速やかに大阪市長に申し出ること。
- 本申請に基づく資格審査に際して、関係公簿(申請者及びその配偶者の市民税の課税台帳や世帯の住民基本台帳等)を大阪市が閲覧すること。また、公簿で確認できない事項については関係書類を提出すること。
- 大阪市から委託を受けた運営事業者が、申請に関わる個人情報や塾等参画事業者が保有する通塾状況等の個人情報を取り扱うこと。
- 参画事業者が提供する学校外教育サービスの内容、安全性、その他品質を大阪市が保証するものではなく、万一、サービスの利用等において事故等により申請者、利用生徒、その他の関係者に損害が発生した場合でも大阪市及び大阪市から委託を受けた運営事業者が一切の責任を負わないこと。

平成 ○○年 ○○月 ○○日

申請者氏名 浪花 代助

配偶者氏名 浪花 成子

- ### 記入時の注意点
- ① 提出する日付を記入してください。
 - ② 朱肉印を押してください。
 - スタンプ印は使用しないでください。
 - かすれたり、不鮮明にならないよう押印してください。
 - ③ マンション名・アパート名なども記入してください。塾代助成カード等の送付物は申請者住所に送付します。※保護者は必ずしも大阪市内に居住している必要はありません。
 - ④ ここで○をつける住所は、「平成28年1月1日時点で住民登録されていた住所(住民票の住所)」です。
 - ⑤ 申請者に配偶者がいる場合は「有」に○をつけ、配偶者の氏名・住所等を記入してください。
 - ⑥ ①に記入した申請日時点での生活保護の適用有無に○をつけてください。
 - ⑦ 自宅電話・携帯電話をいずれもお持ちの場合は、両方記入してください。書類に不備があった場合等にご連絡することがありますので、必ず日中に連絡が可能な電話番号を記入してください。
 - ⑧ 「同居」に○をつけてください。
 - ⑨ 「維持」に○をつけ、「監護・生計維持申立書(第3号様式)」を添付してください。
 - ⑩ 「利用生徒写真貼り付け欄」の下の注意書きをよく読み、写真を貼ってください。【使用できない写真】
 - 普通紙に印刷された写真、プリクラ、加工された写真、スナップ写真
 - 集合写真等、本人以外も写っている写真
 - 正面を向いていない写真
 - 帽子・マスク・前髪・ピースサイン等により、目など顔の一部が確認しにくい写真
 - 不鮮明(ピントがあっていない、しわがある等)、大きすぎる、小さすぎる写真
 - ⑪ (1)～(7)の内容に同意のうえ、提出する日付を記入し、署名・押印をしてください。